

活動報告

ひめじ創生戦略室 ふるさとプロモーション推進室
姫路市家島諸島 地域おこし協力隊

小林 昂祐

自己紹介



- 小林 昂祐（こばやし こうすけ）
- 生年月日：
1993年（平成5年）10月8日 生まれ（酉年）
- 趣味：ドキュメンタリー映画を見ること、ゲーム
水族館巡り、さんぽ、スマート家電
- 海の環境とそこに棲むモノたちの生活を守る仕事をする
がモットー（Value）です。

私の活動方針

目指している姿



災害に強い
命を守る漁港・漁場の維持

ミッション；「内湾地域の旗艦：家島諸島」

一つの動きで様々な方面にプラスの効果を発揮させる活動
災害と激しくなる気候に対応した命を守る生活環境の維持
地域経済や社会を持続的に発展させる新たな海洋産業の振興



島外の人々が求める
水産加工品の開発



持続可能な社会に向けた
海の豊かさ再生案の提案

ビジョン；地域と技術を繋ぎ結ぶ、

導き手

島の資源や利点を最大限
共有する体制の構築補助



**バリュー；海環境とそこに棲むモノたちの
生活を守る仕事をする**

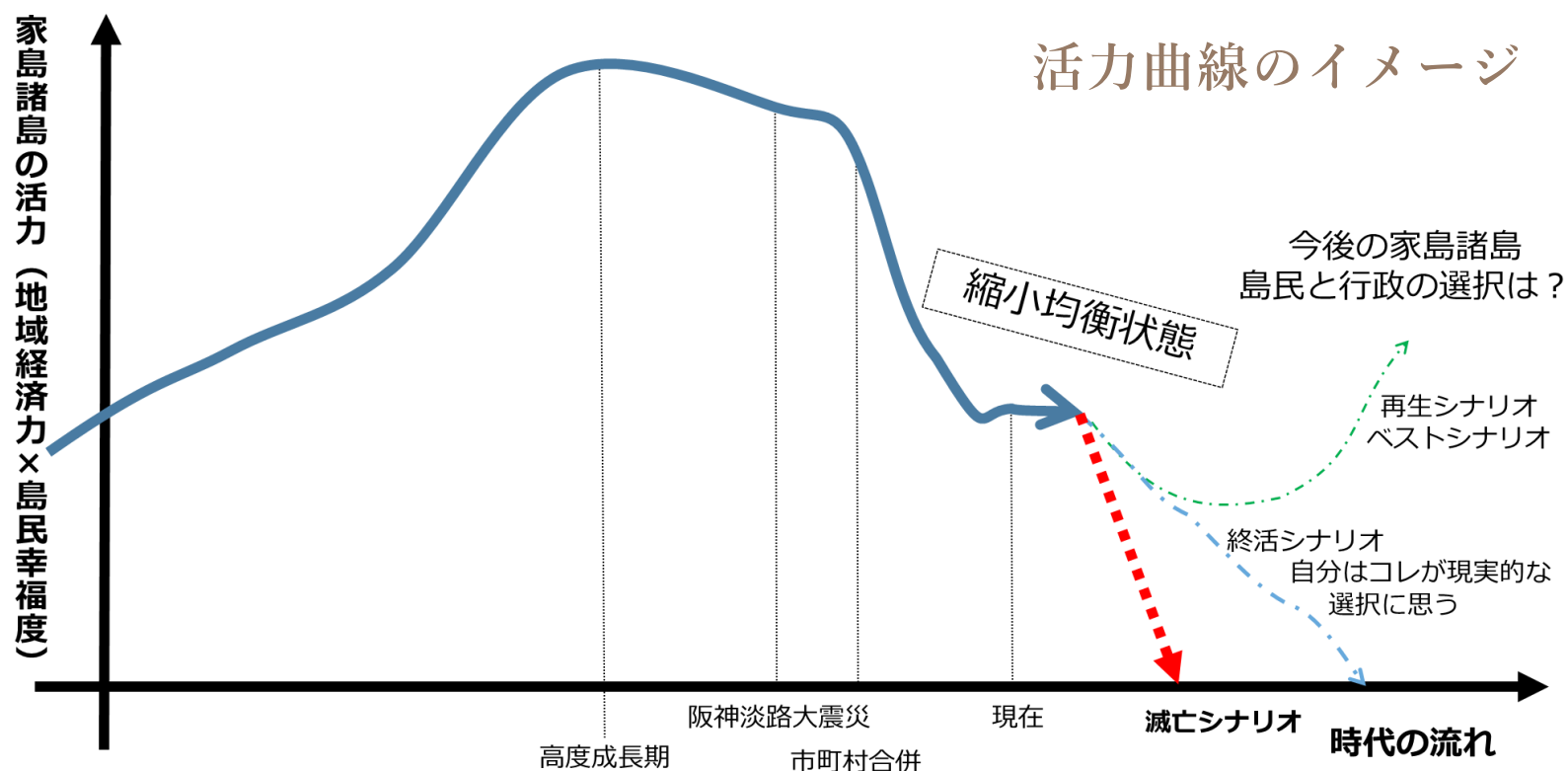
活性化の定義

小林は「地域が持つ経済力に住民の幸福度をかけ合わせたもの」と定義した。

【地域＝家島諸島】、【住民＝各島で2世代以上住み続けている人】

※ 経済力（＝産業活性度）と幸福度はそれぞれ科学的な数値化手法が確立されている

※ 加賀らの論文（2018）では経済力と幸福度に加えて、人口の指標として定住活性度を採用している
しかし、家島諸島においては実態との乖離が大きいので不採用とした



主な活動

- 家島地域の分析
- 水産加工品企画
- パトロール点検、リーフレット作成
- 全国ロケーションデータベース登録、Smout、Facebook等のSNS記事更新
- 地域協力活動
 - 観光事業組合 釣り大会協力
 - 老人クラブ講演
 - ペーロンフェスタ
 - 大学のゼミ協力
 - 城山公園 草刈り・花植え
- アイランダー2023



島での暮らし・活動をする！

1 年目

- 3年後の目標と活動の方向性を決める年



家島諸島 海産物/イベント カレンダー



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
美味しい海産物	ぼうぜ鯖	華姫さわら				白鷺鱧				ぼうぜ鯖		
	干ガレ	アッコ			コブトエビ・小エビ			ぼうぜがに		干ガレ		
	味付のり	イカナゴのくぎ煮			アカガイ			マナガツオ		カラスミ		
		シラス			ヒイカ							
島のイベントと季節の風景	とんど祭り	さくら開花			天神祭り			秋祭り		イルミネーション点灯式		
					ヒメボタル			坊勢ペロンフェスタ				

家島地域の分析

- 昔ばなし、新聞記事、町時代刊行物調査
- 島内散策、目視・島民ヒアリング



- 地域カレンダー（左上）の作成
- 令和4年度住民アンケート再解析（左下）



家島地域の問題

人口の減少（**経済的な事由**が最も多い意見）

- ✓ 働ける場所がない
- ✓ 高校合併・小中学校の合併
- ✓ 島内の支援はありがたいが賄えない
- ✓ 若者世代の移住
- ✓ 風土として一度出ると戻りづらい
- ✓ 人がいない

- ✓ 物価・交通費の上昇
- ✓ 子育て費用の増加
- ✓ 収入の減少
- 主力産業の採石・砂利採取の
労働生産性は全国平均の約5分の1
(経済センサス H 28 年)

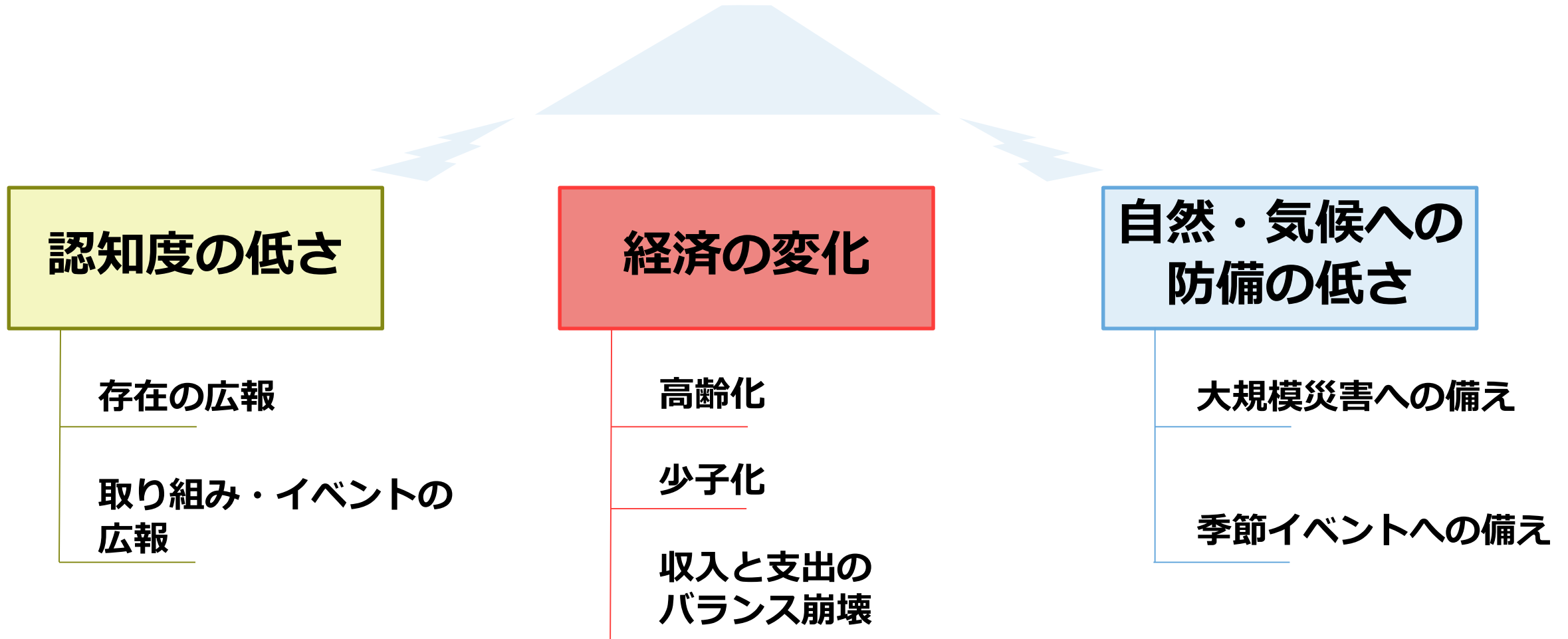
自然・気候の変動が激化

- ✓ 大規模災害（南海トラフ）に対する備え
- ✓ 激甚化する季節イベントに対する備え
 - ✓ 自主防災の割合が非常に大きい地域
 - ✓ 一番の被害者：海岸沿いに棲む住人
 - ✓ 小潮なのに冠水している防波堤

家島諸島の**認知度が低い**

- ✓ 姫路市にも存在が知られていない
- ✓ 公の地図ですら省略される
- ✓ 取り組み・イベントの参加者が少ない
- ✓ 他所で紹介される内容はほぼ固定
- ✓ 加工品はほとんど知られていない

複雑で多様な問題



広報



島内の方 イベントや情報を広く正しく伝える
中立な立場で頑張っている人、島の魅力を宣伝する

島外の方 家島諸島そのものを知ってもらう

産業振興



特産物づくり
幹となっている産業の延長線上に島には無かった産業を起こす

働く場所と収入 (**最重要課題**)
島内の既存産業を支えるとともに島民の新しい働き口や
生きがいを創出する

防災



消防団の負担軽減
団員にかかる負担を少しでも軽減するツール・仕組みの提案

防災意識の醸成 離島ゆえに、災害について考える機会をつくる

人は城、人は石垣、人は堀、
情けは味方、仇は敵なり

家島諸島を遺すために必要な条件

- 家島諸島の歴史的な出来事や風俗習慣、教訓等の民俗学的な要素が記録および実態として存在し続けていること
- 家島諸島の文化的小および歴史的な価値を有する財産もしくは行事が再現ないし閲覧可能な状態で保存されていること
- 上記を受け継ぐ人物または団体が存在し続けていること
- これらに対し、研究および評価がなされていること

地域の活力（活性化とは）

私は地域が持つ経済力に島民の幸福度をかけ合わせたものと定義した。

主な活動

- 三本柱の活動
 - 移住者向け情報誌の制作
 - 水産加工品企画の立案
 - 高潮災害警報システムの構築
 - 地域協力活動 & 研修
 - 観光事業組合主催 釣り大会
 - ぼうぜパーロンフェスタ実行委員
 - 家島小学校 うみの時間 特別講師
 - アイランダー(オンラインステージ)
 - 大学の实地研究取材 6校程度
- ◎ 【研修】 衛生責任者、創業塾



島での活動の種をまく！

2年目

- 土を耕し、基礎を固める年

家島

テレビ出演と 情報誌の作成

制作・著作



島を知って好きになってもらう
島民の誇りとやる気を取り戻す

キーワード

家島諸島

地域

[地域を選択]

カテゴリ

[カテゴリを選択]

360°VRツアー・動画

[360°VRツアー・動画を選択]

その他

ロケ候補地一覧

1件のロケ候補地を新着順に表示しています

トップページ > ロケ候補地一覧

家島神社

兵庫県姫路市家島町

お気に入り ★



播磨灘の沖合に浮かぶ大小44の島々から構成され、語呂合わせで「四」と「四」を合わせて「しあわせの島」ともいわれている家島諸島。その一つである家島本島には神武天皇が寄港し、海上安全を祈願されたのが始...

カテゴリ

神社・仏閣 自然 島
砂浜・海水浴場・海岸



全国ロケーションデータベース登録 Smout更新

- 全国ロケーションデータベース
ー登録に関する諸々はコンベンションビューローと島民に引き継いだ【地域の自走支援→自走へ】

- 移住促進サイトSmout

ーJターン協力隊が島の魅力を紹介します
方針変更：20～30代未婚女性の移住促進に向けた情報発信

→ 姫路市の協力隊になりたい人向け



兵庫県姫路市

20

“家島諸島”で活躍する“地域おこし協力隊”の募集と『おたまし地域おこし協力隊』のご案内！

テレビ・動画出演

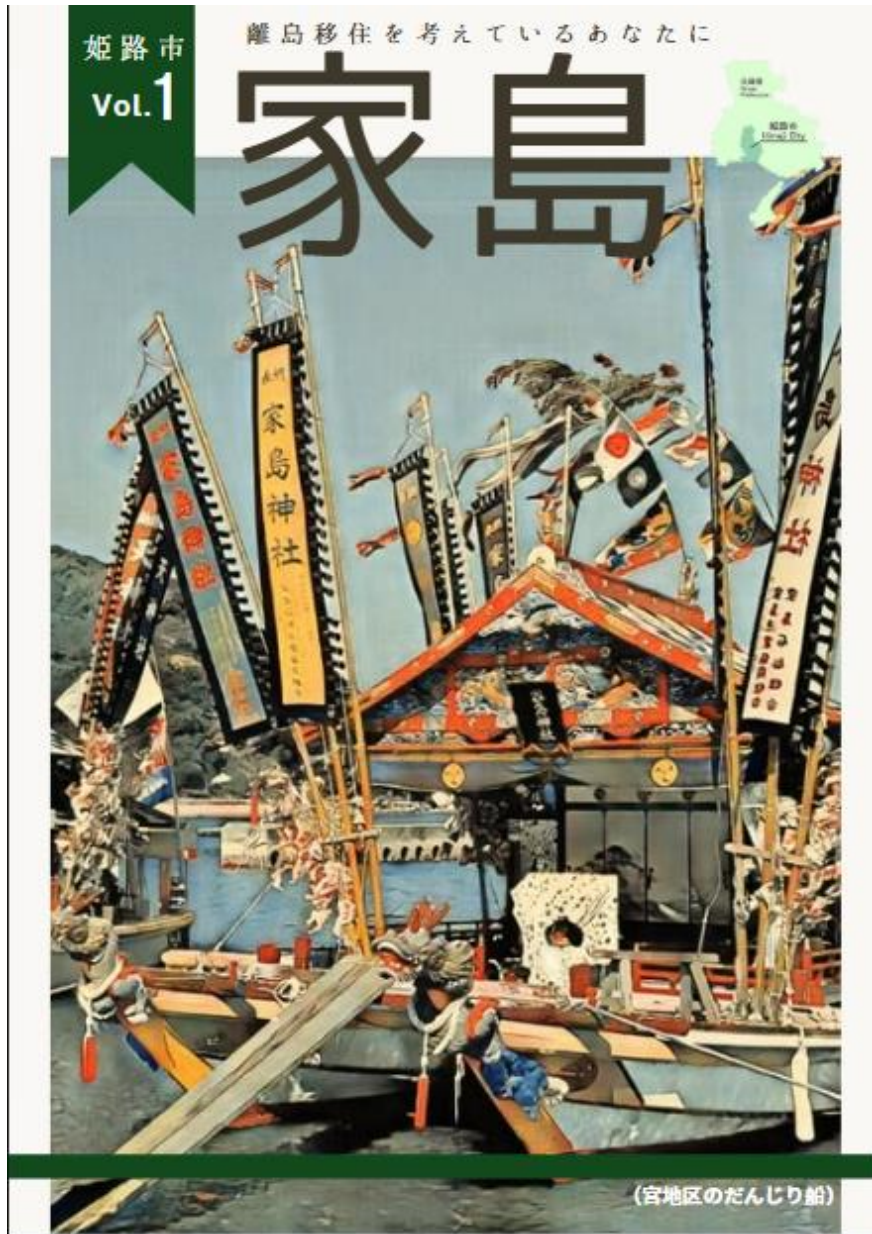


アーカイブ動画はYouTubeで公開中



姫路市家島諸島地域おこし協力隊

移住者向け情報誌の作成



移住希望者、来島者をメインターゲットに
【住む】をテーマにまとめた。

- 使用想定
 - 移住を考えている人の入り口として
 - 地域学習の教材として
 - 島の魅力の再発見に

次年度の目標

- 情報誌【坊勢編】の作成
 - 8月までに完成！
 - 【男鹿・西島編】について構想する
- Smout記事更新
 - 【ここの協力隊になりたいなあ】をテーマにする
 - 島内の人にインタビューする記事を書く
- 外部からの依頼にできるだけ島民を巻き込む（or 紹介して任せる）

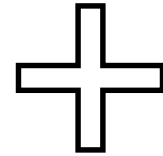
島を知って好きになってもらう 島民の誇りとやる気を取り戻す

水産加工品 企画

島に【働く場所】と
【食料保存庫】を作る

地域課題の解決に向けた方向性

軽作業中心の
就労機会創出



加工食品化による
水産資源の再定義



収益性と持続可能性を両立する
新しい地域産業モデルを構築

事業のイメージ

地域密着型の水産加工食品（缶詰）モデル

缶詰事業

高付加価値商品を製造、
家島地域の水産物を
全国に展開する

店舗事業

地元漁師の
「まかない」を再現し、
地元の食文化を発信

家島諸島の地域資源を活用し、持続可能な活性化を目指す。

缶詰を選んだ5つの理由

多様性

200種類を超える
豊富な原材料

保存性

常温保存で3年
5年のモノもあり

輸送性

段ボールで常温輸送
可能

成長性

健康志向の高まり
→ニッチ市場が拡大

軽作業

作業の属人性が低く
作業内容が簡易

製造の流れ

仕入れ

▶ 一次加工

地元漁業者・仲卸と協業

▶ 長期保存食製造

弊社が担当

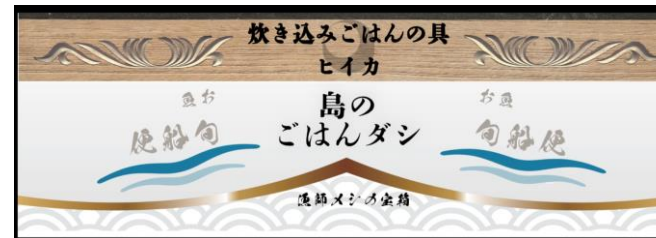
▶ 店舗販売



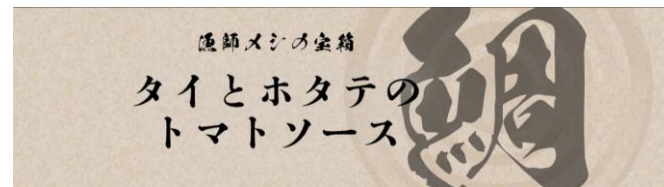
島外：缶詰生産工場（妻鹿）



● 漁師飯の宝箱シリーズ



● 海の味覚の原石シリーズ



島内：販売店舗（宮）



姫路市家島諸島地域おこし協力隊

坊勢漁業協同組合

家島漁業協同組合

誰もができる軽作業

下処理

計量

封入



材料を切ったり
オーブンで下処理します



具材とソースを計り
缶に詰めます



巻き締め機で真空密閉した後
レトルト殺菌装置（下の機械）
で高温加圧調理します



販売フロー

B2B

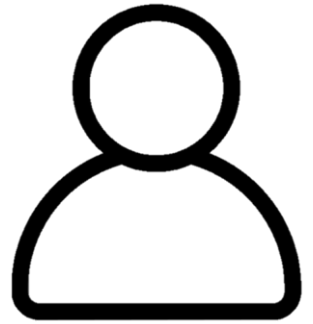
小売店



ギフトセットの卸売



缶詰単品・ギフトセット・レトルト・軽食



お客様

自分の会社
(創業予定)



BASE



実店舗・ECサイト
マルシェ



実現に向けて ～試作品づくり～

原料の特性（熱を加えるとどうなるか・調味料との相性・真空包装までにかかる時間など）を把握することを目標に試作品を製作



30名程度（材料の提供元、家島事務所職員、家島町在住の島民および地元自治体、本土の姫路市民）に試食してもらい評価を得た。

代表作になりうる商品（それぞれ50缶分を製造）

商品名	特徴	主となる販売ジャンル
タイのアヒージョ	ご飯のおかずにもなる 和風アヒージョ	おかず・酒のつまみ
シタ大根	煮物系でご飯に合う、 骨ごと食べられる	ご飯のおかず・家庭料理
タイとホタテのトマトソース	パスタ・パンにも合う 洋風ソース	洋食派・ギフト向け
ヒイカご飯の素	手軽に炊き込みご飯が作れる	家庭向け・常備食
カキのお吸い物	旨味と香りがよく、 胃にやさしい和風汁もの	高齢層・和食派・ギフト

次年度の目標

- 開業届を出す（卒隊後すぐに営業開始できる体制にする）
 - オープンのチラシを配る
 - 島内販売店舗のスタッフを検討する
- HPをプレオープンする
 - ECサイトの完成とテスト販売をする
- 最終活動報告会で【販売品】の試食ができるようにする
 - サンプルから製品に

島に【働く場所】と【食料保存庫】を作る

高潮災害 警報システム

テクノロジーの活用
島民の生活と命を守る

昨年度のおさらい

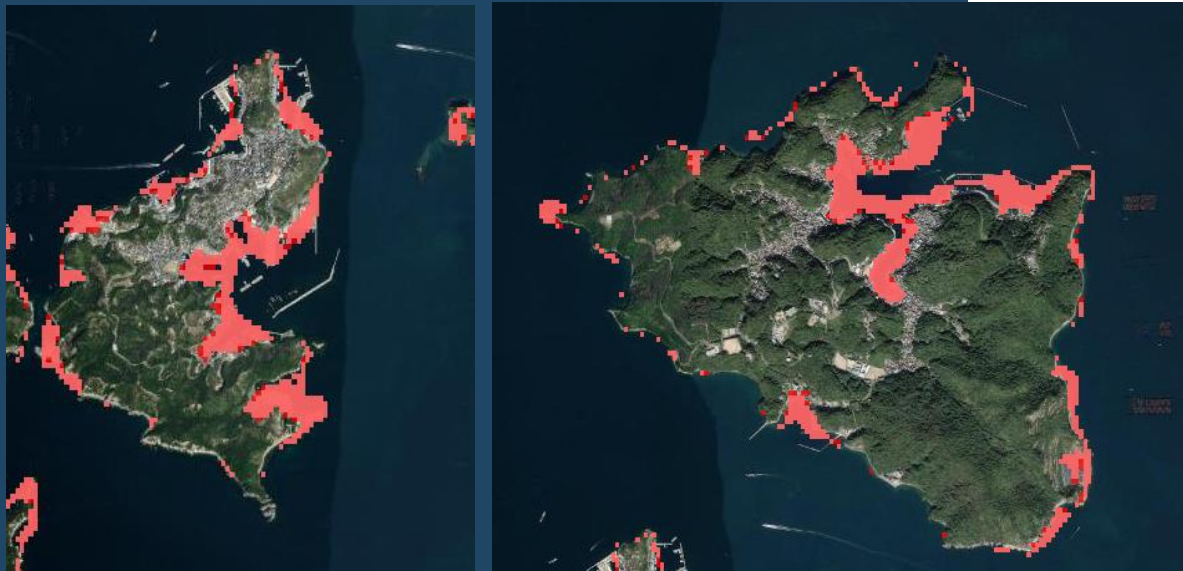
- 港のパトロール点検（町歩きをより業務に）
– 町単位での取り組みを水産庁・国交省が推奨
施設・設備の異変は自分たちが一番気づきやすい

- 海面上昇予測へのアンテナ
2030年（6年後）に左地図の赤色地域が
高潮に**年中**悩まされる可能性がある

（グリーンピース財団、地調総シミュレーション, 2022）

- 消火栓の使い方リーフレットの作成
– 地域にある2種類の消火栓のリーフレットを
消防団および飾磨消防署に協力いただいて作成

命に関わることなので
みんなに知っておいてほしい





網手の船着き場



山本鉄工所前



宮浦神社前

水産工学技士（水産土木と生物環境の技術者）としては見過ごせない

→ 今の仕組みとは別のアプローチ（住民有志を補助・補完する形）での防災活動が必要

深層学習 + AIを使ったシミュレーション結果をアプリやダッシュボード上で閲覧・共有する
この地域だからこそできるDX化（デジタルトランスフォーメーション）を実現する

高潮災害警報システム

目指しているシステムの形

ダッシュボード

データを視覚化し分析する
インターフェース

クラウドストレージ

データを安全に保存し、
アクセスするための
プラットフォーム

風向・風速データ

潮のリスク評価を行うための
予測データ

潮位データ

正確な潮汐変動を把握する
ための時系列データ

気象データ

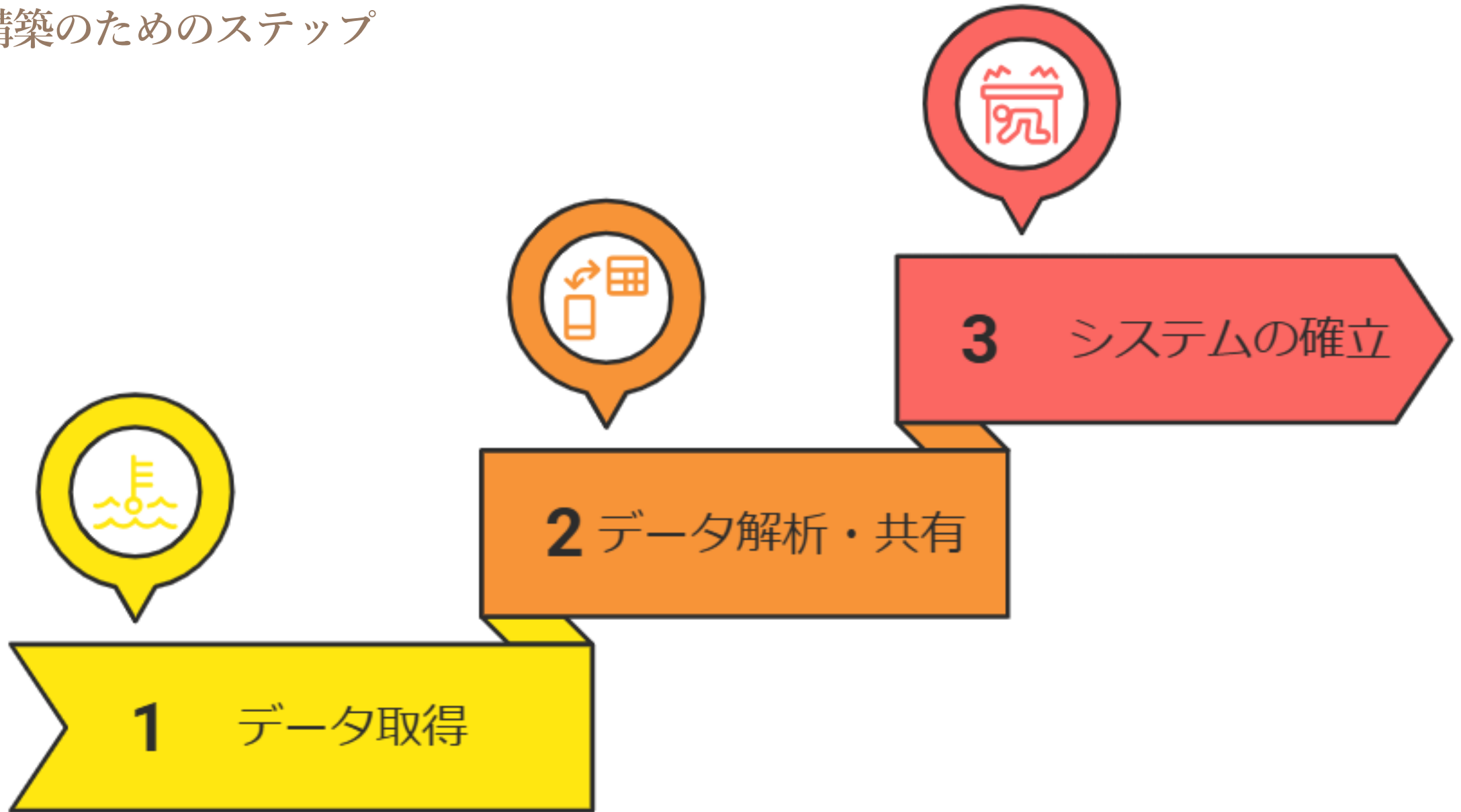
風と気温の条件に関する
一般公開情報

波高データ

現地の波高状況を把握する
ための実測データ

高潮災害警報システム

構築のためのステップ

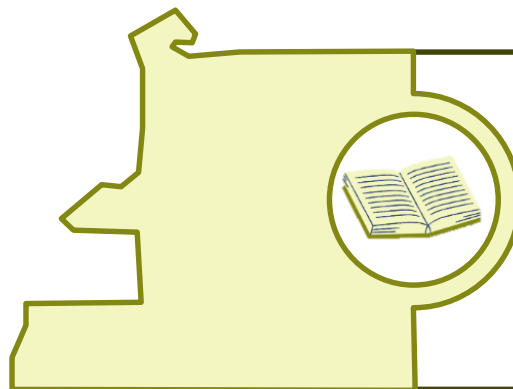


次年度の目標

- システムプロトタイプの構築・稼働
 - スクレイピング（サイトの情報を取得すること）から配信までを自動で行う
- 運用のルール決め（**最重要**）
 - 台風や高潮リスクに対する迅速かつ適切な判断を支援する体制づくり
 - 双方向性コミュニケーションツールとして活用
- 情報の共有範囲の拡大
 - 情報発信および通知システムを構築し緊急通知や避難情報の迅速な共有

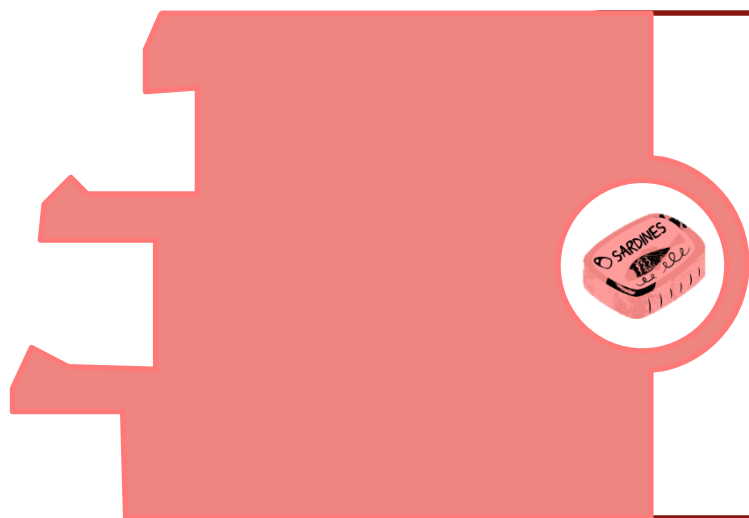
テクノロジーの活用 島民の生活と命を守る

海の環境とそこに棲むモノたちの
生活を守る仕事をする！



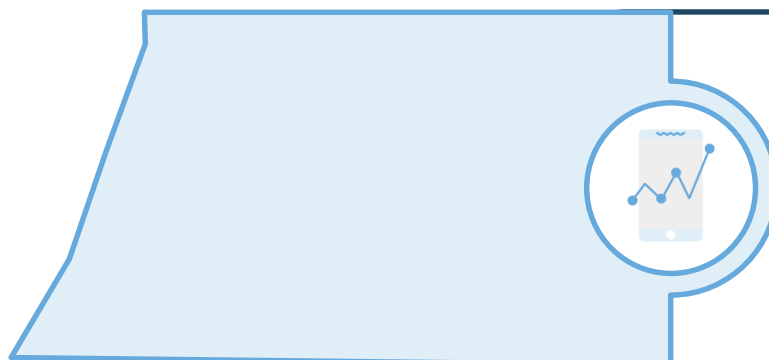
広報 → 移住者向け情報誌の製作

- ✔ 島内の方 イベントや情報を広く正しく伝える
中立な立場で頑張っている人、島の魅力を宣伝する
- ✔ 島外の方 家島諸島そのものを知ってもらう



産業振興 → 水産加工品企画の立案

- ✔ 特産物づくり
幹となっている産業の延長線上に島には無かった産業を起こす
- ✔ 働く場所と収入 **(最重要課題)**
島内の既存産業を支えるとともに島民の新しい働き口や
生きがいを創出する

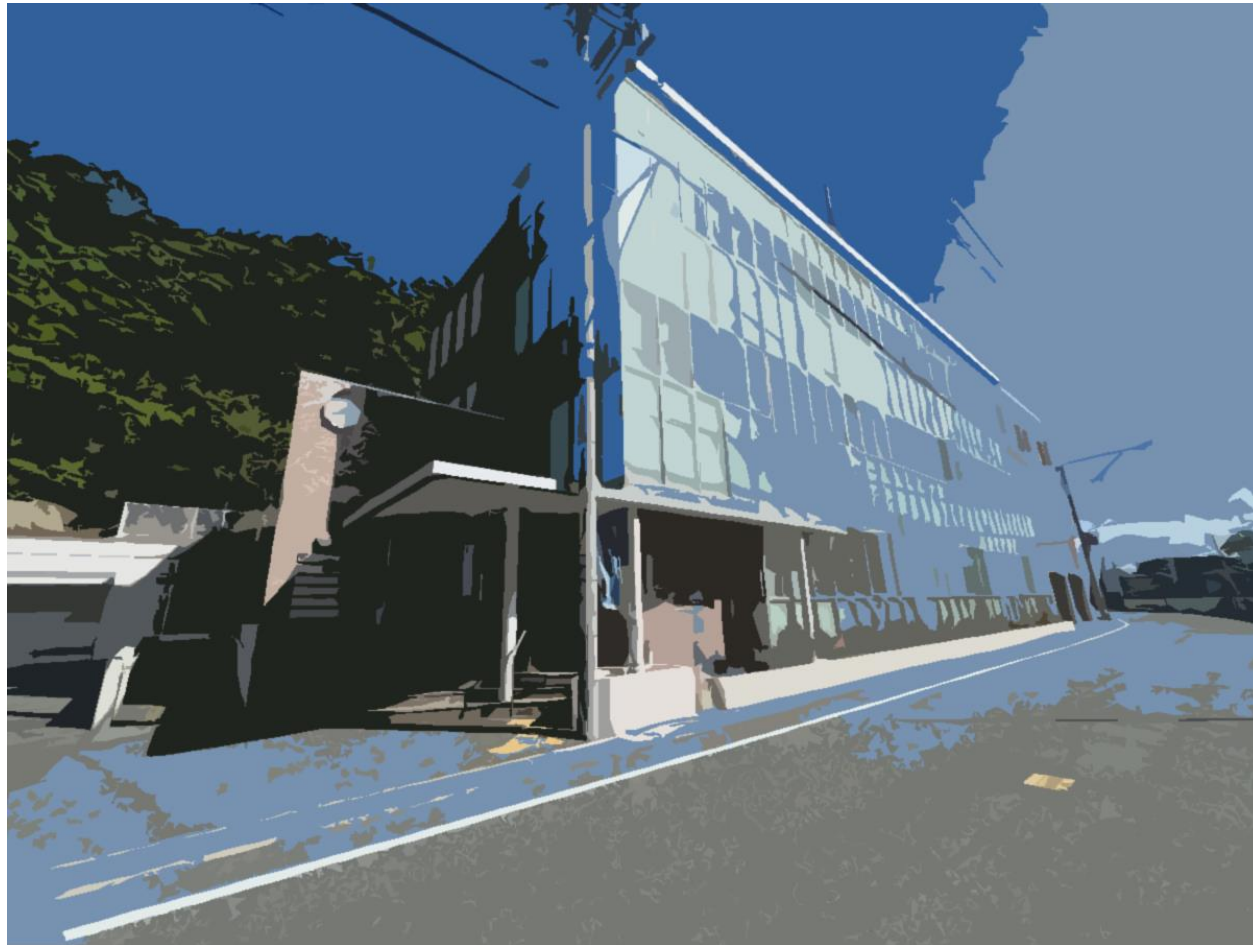


防災 → 高潮災害警報システムの構築

- ✔ 消防団の負担軽減
団員にかかる負担を少しでも軽減するツール・仕組みの提案
- ✔ 防災意識の醸成 離島ゆえに、災害について考える機会をつくる

いつでもお声がけください

普段は家島事務所の奥にいます。午後は歩き回っていることも多いです。



勤務場所

家島事務所 1階

メールアドレス

kousuke_washio@city.himeji.lg.jp

wac02kou@gmail.com

電話番号

079-325-1006

080-6156-3258